

2015年8月18日

株式会社日本レースプロモーション

8月22日(土)～23日(日)  
**2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第4戦**  
**ツインリンクもてぎ大会選手権概要**  
**ーシリーズ後半戦を迎え、チャンピオンシップ争い激化の様相ー**

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、8月22日(土)～23日(日)の2日間、栃木県 ツインリンクもてぎ レーシングコース(1周:4. 801 km)で開催される「2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第4戦ツインリンクもてぎ大会」について選手権概要を発表します。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:12名、海外:6カ国(イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)、7名

第4戦もてぎ大会は、今シーズンを折り返し後半に向けて、チャンピオンシップ争いの行方を占う大事なレースといえます。現在、ドライバーズポイントランキングは、第2戦岡山大会をポール・トゥ・ウインで自身初の優勝を飾った石浦 宏明(プロムュー/セルモ・インキング)が21ポイントを獲得して一歩リード、第3戦富士大会を2番手からの好スタートで優勝を勝ち取ったジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)が19ポイントで続きます。昨年のチャンピオン中嶋 一貴(ペトロナス・チーム・トムス)は今季優勝こそないものの、2度の2位で16ポイントを獲得して3位、そのチームメイトで初戦鈴鹿大会を制したアンドレ・ロッテラー(ペトロナス・チーム・トムス)は15ポイントで4位と、いずれも好位置につけています。5位は第2戦岡山大会で初の表彰台に上った小林 可夢偉(キグナス スノコ チーム ルマン)、6位はこれまでの全戦でポイントを獲得している野尻 智紀(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)でともに8ポイントを獲得し、どちらも年間チャンピオンを狙える可能性が残っています。ランキング1位の石浦 宏明から13ポイント以内に6人がしのぎを削っている2015年シリーズは、後半に向けてチャンピオンシップ争いの激化が予想されます。また、その他の注目点として、今大会から規則上、後半戦に向けた新バージョンエンジンの投入が可能となり、それに伴いHondaエンジン/TOYOTAエンジンユーザー同士の勢力図が前半3戦に比べどう変化するのも、大きな見どころです。



現在、ドライバーズポイントランキング 1位のプロムュー/セルモ・インキング #38 石浦 宏明

## 【ご参考】

### 1. スーパーフォーミュラとは？

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

### 2. チャンピオンシップ

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)(海外6国、7名:イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)のドライバーで争われており、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定いたします。

2015年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	pp
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには計算されない。

\*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\*1大会2レース制の場合、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

### 3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより賞金とシリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

### 4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR-414EまたはTOYOTA RI4Aを使用しています。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイクです。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードで、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられています。

### 5. オーバーテイクシステム

エンジンに燃料リストラクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を一時的に上げ、通常時の約105%のパワー(約30馬力)(※1)を発生させオーバーテイクを促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着しています。尚、このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムのパワーの上がり方は、レースによって設定が異なり、富士と鈴鹿大会は約105%、その他大会は約110%となります。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**BRIDGESTONE**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next  
日立オートモティブシステムズ

**J SPORTS**

セディナ

**日清一** NIKKI-ICHI  
人気酒造

## 6. 公式予選 -ノックアウト方式-

公式予選はノックアウト方式(※2)で行われます。予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。Q1でベスト14位に、Q2でベスト8位に無理なく勝ち残り、Q3でベストタイムを記録して上位につけるという流れが理想的な予選運びとなります。

(※2)19台エントリーの場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1~8位までの決勝レーススタート位置を決定します。

## 7. 決勝レース

決勝レースは、ツインリンクもてぎ国際公認レーシングコースを52周、トータル249.652kmで行なわれます。

### 2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 18~19	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 23~24	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250km
7/ 18~19	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 22~23	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 12~13	第5戦/オートボリス	ノックアウト	250km
10/ 17~18	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 7~ 8	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

## 8. ツインリンクもてぎについて

多くの低速タイトコーナーをごく短いストレートで結んでいるコースレイアウトにより、連続する“ストップアンドゴー”が強いられることから、“日本で一番ブレーキに厳しいサーキット”と、言われています。

## 2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第4戦 ツインリンクもてぎ エントリーリスト

(シャシー:SF14、タイヤ:ブリヂストン)

No.	ドライバー	生年月日 出身地	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス)	TOYOTA R14A
2	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ	舘 信秀	
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992.9.17 イギリス	近藤 真彦	
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン)	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986.9.13 日本 兵庫県	土沼 広芳	
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	Honda HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都	金石 勝智	
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン) 手塚 長孝	Honda HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	LENOVO TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル)	TOYOTA R14A
20	アンドレア・カルダレッリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア	星野 一義	
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	Honda HR-414E
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都	P.MU/CERUMO-INGING (プロミュー/セルモ・インギング)	TOYOTA R14A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県	立川 祐路	
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライオンレーシング)	Honda HR-414E
41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド	村岡 潔	
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	Honda HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986.2.23 ベルギー	中嶋 悟	

## 2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ シリーズポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
				鈴鹿 Rd.1	岡山 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートボリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	38	石浦 宏明	21	4	<b>11</b>	6					
2	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	19	5	4	<b>10</b>					
3	1	中嶋 一貴	16	8	-	8					
4	2	アンドレ・ロッテラー	15	<b>10</b>	1	4					
5	8	小林 可夢偉	8	-	8	-					
6	40	野尻 智紀	8	1	6	1					
7	16	山本 尚貴	6	<u>1</u>	5	-					
8	41	ナレイン・カーティケヤン	6	6	-	-					
9	39	国本 雄資	5	-	-	5					
10	20	アンドレア・カルダレッリ	4	-	3	<u>1</u>					
11	11	伊沢 拓也	4	2	2	-					
12	7	平川 亮	3	-	-	3					
13	64	中嶋 大祐	3	3	-	-					
14	3	ジェームス・ロシター	2	-	-	2					
	10	塚越 広大	-	-	-	-					
	4	ウィリアム・ブラー	-	-	-	-					
	18	中山 雄一	-	-	-	-					
	34	小暮 卓史	-	-	-	-					
	65	ベルトラン・バゲット	-	-	-	-					
	1	大嶋 和也	-	-	-	-					

\* 表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位		ポイント	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
			鈴鹿 Rd.1	岡山 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートボリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	PETRONAS TEAM TOM'S	31	<b>18</b>	1	12					
2	P.MU/CERUMO・INGING	25	4	<b>10</b>	11					
3	LENOVO TEAM IMPUL	22	5	7	<b>10</b>					
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14	7	6	1					
5	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11	-	8	3					
6	TEAM 無限	5	-	5	-					
7	REAL RACING	4	2	2	-					
8	NAKAJIMA RACING	3	3	-	-					
9	KONDO RACING	2	-	-	2					
	KCMG	-	-	-	-					
	DRAGO CORSE	-	-	-	-					

\* 表中ポイント数字の **太字**:優勝

\* チームポイント:各チーム(エンタラント)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エンタラント)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

## —開催概要—

- 大会名称 : ツインリンクもてぎ2&4レース  
2015 全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第4戦 ツインリンクもてぎ  
2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦(J-GP2クラス)
- 4輪
  - オーガナイザー : エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)  
株式会社モビリティランド
  - 公認 : 国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
  - 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)  
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)  
Hondaワンメイクレース事務局(HORS)
- 2輪
  - オーガナイザー : 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)  
株式会社モビリティランド
  - 協力 : エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)
  - 公認 : 国際モーターサイクルリズム連盟(FIM)
- 後援 : 文部科学省 / 観光庁 / 茂木町 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / FM NACK5
- 同日開催 : 2015年 全日本フォーミュラ3選手権 第14戦&第15戦  
2015 N-ONE OWNER'S CUP 第7戦  
2015年 FIMアジアカップ 国別対抗ロードレース

### 【TV放映予定】

#### ■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様子をライブ中継。その他、再放送やレースダイジェスト番組も放送

- ・予選放送: 2015年8月22日(土)13:00~15:00(生放送 : JSPORTS 3)
- ・決勝放送: 2015年8月23日(日)14:30~17:30(生放送 : JSPORTS 3)
- ・ダイジェスト: 2015年9月5日(土)22:00~22:15 : JSPORTS 3

#### ■ BSフジ

全7戦のレースハイライトとドライバー・チームに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On!」を放送。

- ・初回放送: 2015年8月28日(金)深夜00:00~00:55 ・今回の特集:野尻智紀選手(予定)
- ・再放送: 2015年9月04日(金)深夜00:00~00:55

#### ■ フジテレビCS放送「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」

全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力や、ドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク番組「スーパーフォーミュラTV」を放送。インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信

- ・初回放送: 2015年8月28日(金)夜22:30~23:00 ・スタジオゲスト:石浦宏明選手(予定)
- ・再放送: 有り

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**BRIDGESTONE**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next  
日立オートモティブシステムズ

**J SPORTS**

セディナ

日清 人気酒造

※詳しい放送スケジュールについては、各番組オフィシャルウェブサイト、もしくは「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

○映像の配信

■ GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

配信映像は無料動画ステーションGYAO!オフィシャルページ(<http://gyao.yahoo.co.jp/p/00830/v09524/>)から視聴可能です。

※配信日時は変更となる場合があります。

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

【チケット情報】

●前売観戦券 (2日間有効)

大人1名 : 5,000円

※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料

学割 (高校生以上の学生) : 2,500円

●前売駐車券 (2日通し券)

4輪普通車 : 1,500円

2輪車 : 無料

●パドックパス

大人 (高校生以上) 1名 : 3,100円

子供1名 (中学生まで) : 無料

●ピットウォーク券

大人 (高校生以上) : 各日 1,100円

子供1名 (中学生まで) : 無料

●サーキットサファリ

ペア券 : 4,000円 ※席指定

\* 観戦情報、チケットなどの詳細は、ツインリンクもてぎ公式サイト レースチケットのご案内 (<http://www.twinring.jp/2and4/ticket/>)をご参照ください。

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail:media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

広報担当:遠藤清人 携帯電話:090-3401-8112

e-mail:media@jrp-inc.net